

項目	内容
名称	カバノアナタケ、チャーガ [英]Chaga、Charga [学名]Inonotus Obliquus (Ach. ex Pers.) Pilat、Fuscoporia Obliqua (Ach. ex Pers.) Aoshima、Boletus obliquus ach ex pers.、Polyporus obliquus (Ach. ex Pers.) Fr.、Fomes obliquus (Ach. ex Pers.) Cooke、Phellinus obliquus (Ach. ex Pers.) Pat.
概要	カバノアナタケは、極寒地帯のロシアや北欧の山林中の白樺の木に寄生するキノコである。煎じて抽出したものが茶として利用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 菌核：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> 多糖類 (β-グルカン)、ステロール類、テルペノイド (lupanes、lanostanes) (101) (102) (1991151651) などを含む。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ステロール、ルパン、ラノスタン をGCにより分析した報告がある (101) (102)。
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(101) Acta Pharmaceutica Fennica. 1987;96(2):85-9. (102) Acta Pharmaceutica Fennica. 1988;97(2):45-9. (104) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修 (2004284487) 肝臓. 2004;45(6):33.1 (2005018659) 肝臓. 2004;45(supple2):A454. (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:23149251) Clin Nephrol. 2014 Jun;81(6):440-4. (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (103) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (2019063956) 日本内科学会関東地方会. 2018;646:32.</p>	